

令和5年度普及活動アルバム

木曽農業農村支援センター

～未来につながる木曽の豊かな農業・農村と食～

第4期食と農業農村振興計画の木曽地域の発展方向に位置付けた4つの重点取組について、関係機関の皆様方と連携しながら普及活動を展開してまいりました。

「新たな品目導入による産地の活性化」を重点活動とし、酒米・花木の生産振興に取り組むとともに、一般課題では、多様な担い手の育成、木曽ならではの農畜産物の生産振興、食農教育など、多くの課題に取り組み、一定の成果を得ることができました。



【通年】重点活動

◆酒米🍶

長野県育成の酒米「山恵錦」の生産振興に取り組みました。

生産者と酒造メーカー、町村、JA等の関係機関参集による酒米の現地検討会を開催し、酒米の生育状況を確認するとともに、実需者との意見交換会によるマーケット調査を行いました。

今後も消費者ニーズに応える取組について、推進してまいります。



【通年】重点活動

◆啓翁桜🌸

当地域は、生産者の高齢化、担い手不足、鳥獣害等による農地の荒廃化が課題となっており、その対応策として花木の生産振興を進めています。

啓翁桜は令和2年度から導入されていましたが、養成期間短縮のため、環状剥皮等について検証したところ、定植2年目から出荷できることが明らかとなりました。



【4月】

◆ゼロカーボン

果樹の剪定枝を炭化し、土壤に還元することで、二酸化炭素を放出させない取組を長野県で推進しています。

そこでブルーベリー農家と連携し、無煙炭化器を利用した実証試験を実施したところ、約20a分の剪定枝を約4時間半で炭にすることができました。



【通年】

◆いいじゃん！農ある暮らし

定年退職者や子育てがひと段落された方等を対象に、農業入門講座を開催しました。

11人の皆さんが講座を受講し、農村生活マイスターの野口さんを講師に招き、技術習得について支援しました。

本講座を通じて、直売所等への出荷者が増加し、農業振興につながることを期待しています。



【通年】

◆地域計画

木曾管内における地域計画数は、23地域予定されています。

当センターでは支援チームを編成し、町村毎に開催される集落懇談会等へ参加しました。

今後も、進捗状況を把握しながら、集落懇談会等、協議の場に参加し、令和6年度中の地域計画策定に向け、支援を進めてまいります。



【7月】

◆野生鳥獣害対策🐾

木曽地区野生鳥獣害対策チームでは、鳥獣被害軽減対策の一環として、関係機関等に向けた鳥獣害対策機器の使用方法について講習会を開催しました。

また、農家の皆さんが個別に設置した電気柵を点検し、改善点等についてアドバイスをすることができました。



【9月】

◆伝統野菜

伝統野菜の赤かぶを継承するため、赤かぶを生産している皆さんと連携し、郡内の小学校5校の児童を対象として、赤かぶ栽培の授業を行いました。

伝統野菜の赤かぶ栽培を通じて、次代を担う子ども達の創造性を育てるための食農教育が実施できました。



【9月】

◆御嶽はくさい

木曽地域は雨が多く、高品質なはくさいを安定的に生産するためには、ほ場の排水対策が重要になります。

そこで、木祖村、木曽町開田高原における排水不良のほ場をそれぞれ1か所選定し、ほ場の断面調査を行いました。

調査結果について、生産者や、関係機関で共有し、今後の対策を検討しました。



【10月】

◆スマート農業

中山間地域は、ほ場の畦畔面積が広く、また、高齢化も進む中、畦畔管理の労力軽減対策が課題となっています。

そこで、農機メーカー2社と連携し、リモコン草刈機の実演会を開催しました。

参加した生産者の皆さんに、実際に操作を体験してもらい、現地導入について検討いただくことができました。



【11月】

◆ようこそ！新規就農者

社会情勢により、平成30年度以来開催を見送っていた新規就農者激励会を交流会も兼ねて開催しました。

令和元年度以降の新規就農者5人が出席し、先輩農業者と有意義な意見交換を行うことができました。



【1月】

◆すんきで食育

伝統食のすんきを継承するため、すんきを製造している皆さんと連携し、郡内の小学校5校の児童を対象として、すんきづくりの授業を行いました。

伝統食のすんきづくりを通じて、次代を担う子ども達の創造性を育てるための食農教育が実施できました。